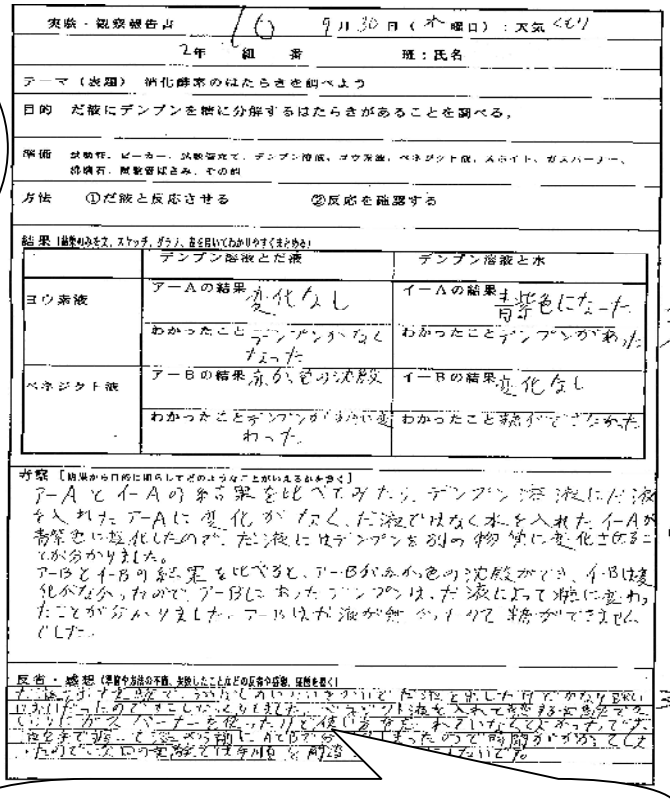
H23.3

項目番号	１０	項目	自校の学力の実態と課題の共有化
学校名	神川町立神川中学校		
タイトル	課題解決のための共通実践		

課題とその解決のための取組を各教科部会等で話し合うことが大切

課　　題	取　　組
・基本的な内容が理解できていない生徒が固定化している。 ・自然体験の少ない生徒の数が多い。 ・科学的に自分の考えをわかりやすく表現する力が身に付いていない。	・単元が終わるときに宿題や小テストを繰り返し行い、学習する習慣を身に付ける。 ・自然現象の話を授業中に頻繁に行い、興味を引くようにする。 ・科学的な考え方のマニュアルを示す。また、授業中や実験プリントでも自分の考えを発表する機会を増やす。

理科の授業では、実験を積極的に取り入れ、体験することによって科学への関心を引き出す。



実験プリントを活用し、科学的に自分の考えを表現する能力を高める。

【成果】

自校の課題と取組を話し合い、共通認識したことで、それぞれの教科における指導の重点項目が明確となり、授業の改善につながった。